

2024年度 第2回事故救済制度に関する専門部会

1. 日時：2024年8月6日（火）18:00～19:30
2. 場所：三宮研修センター 8階805号室
3. 議題

（1）議題

- ①事故救済制度の方向性
- ②今後のスケジュール（予定）

（○：委員 ●：事務局）

【議題①】事故救済制度の方向性

●議題①について説明

・ア 給付金と賠償責任保険の2階建て方式

○前回から気になっていたが、参考資料の要件に責任有りとしていることが気になる。認知症の程度に応じて責任能力がある場合とない場合があると思うが、どちらかという責任能力がないことを想定しているのかと思う。2階建て方式の構造自体はいいと思うし、給付金は責任能力の有無を問わず対象としており、認知症神戸モデルが目指しているものだと思うが、責任能力があると書いてしまうと救済できる案件が減ってしまう気がする。もしくは、想定からそれしてしまう気がする。記載を変えればいいのか、制度を変えないといけないのか。大手の保険会社の約款の変更を確認したが、多くの会社の場合は、個人賠償保険の約款を変更して対応している。個人賠償について責任能力の有る場合だけを対象とすると、救済できない案件が多くなってしまわないかと思う。

●もともとの制度設計としては、あくまでも責任能力がある場合に賠償責任が生じるため、それに対応する賠償責任保険である。実際に裁判になった場合には、責任能力の有無を問うと思うが、通常は当事者に責任能力があるかどうかの判断は難しいため、そこまで厳格に判断せずに運用している。

○認知症の方のご家族にも優しい認知症神戸モデルだと思うが、家族が個人賠償責任を負う場合は、全く救済できないことがあるのではないか。給付金の場合には責任能力を問わないので、本人に責任能力がなく、家族が監督責任を負う場合には、個人の賠償保険で対応すべきとなり、支給対象外になりかねないのではないか。

●同居の家族も被保険者としての扱いになっているため、家族が監督責任を問われた場合にも対象になる。責任能力の有無という表記は見直したい。また、家族も対象ということは明記した方がいいかと思う。

・イ 保険料等

○質問なし。

・ウ 支給項目・支給額

- 案件として多い階下への水漏れは、給付金と賠償責任保険どちらでも対応しているが、割り振りで上限が変わるのがいいのか悪いのか。損害が大きい時には50万円以上になることもあるので、給付金の支給上限額を50万円に上げていいのかなとも思うが、保険料が20万円ほど上がるので判断が難しいところ。
- 恐らくモラルハザードが起りやすいのは同居親族内での第三者の証拠がない案件だと考える。同居親族内での事故は給付金でしか対応できないことで考えると、同居親族内での事故でなければ賠償責任保険である程度カバーできるので、モラルハザードを防止するという観点からも給付金の支給上限額を上げないのもいいかと思う。
- 速やかに診断を受けていただいて、そのインセンティブとして賠償責任保険に加入してもらう流れがデフォルトであり、神戸市の目指す方向性であると考え。賠償責任保険が対象外となってしまう案件は給付金で対応するが、本来は賠償責任保険での救済と考え、事務局の提案どおりこのままでいいかと思う。
- 家族の立場としては、何らかの形で補償してもらえるのであれば助かると思うので、特段問題ない。
- 支給上限額を超える案件が多いのであれば、少し上げてもいいのかなと思う。
- これから支給上限額を超えるものが増えてくれば、見直してもいいかと思うが、現状件数は少ないので現行のままでいいのではないか。
- ・ エ 運用
- 質問なし。
- ・ オ コールセンター
- 質問なし。
- ・ カ GPS安心かけつけサービス
- 仕組みについての質問だが、利用する際に月額利用料を支払うと思うが、その上で約定履行費用保険が適用されているので、利用者が500円の保険料を払っているのか。
- 利用者が負担しているのは、月額利用料であり、神戸市が初期費用とかけつけサービスの6回目までを負担している。市が500円×加入者の保険料を負担していて、かけつけにかかった費用を保険金で支払っている。
- GPS安心かけつけサービスを利用する際には、月額利用料の半額を利用者が支払うこととし、かけつけサービスを使うときがあれば1回6,600円を市が負担するということか。
- そのとおり。
- GPSに選択肢が増えて、それぞれ大きさやサービス内容も変わるということだが、新たな端末の利用料はいくらか。
- 同じく2,000円前後かと思う。
- GPS端末を内蔵することができる専用シューズはいいと思うが、いくらか。
- ホームページを確認すると19,000円ほどであり、お持ちの靴をGPSが内蔵できるように加工もできる。
- かけつけサービスを使って実際に見つかった事例は何件あるのか。
- ガードマンがかけつける前に帰宅したというものもあるが、すべて見つかっている。

⇒提案通り。

・みまもりシール

○住んでいる地域でみまもりシールを取り入れており、サポーター養成講座で周知しているようであるが、それまで知らなかった人が多いので、今後導入するのであれば、有効に活用するために皆さんに知っていただけるようにいろいろな方法で広報周知をしていただければと思う。

・キ 事業者の選定

○価格の安さを基準に事業者を決定することを公にしているのか。

●募集の段階で公にするので問題ない。

○価格の安さで事業者を決定することでも、サービスの質が低下する恐れはないという判断か。

●現在の契約内容を参考に仕様を作成して、仕様をもとに見積もっていただくことになるので問題ないと考えている。

【報告事項②】今後のスケジュール（予定）

●報告事項②について説明

○質問なし。